AudioComm®

ポータブルCDプレーヤー

取 扱 説 明 書

保 証 書 付

型番：CDP-850Z-W/S/P
品番：07-8966/8967/8968

このたびは、AudioComm® ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……2
安全上のご注意 …… 2〜4
静電気に関するご注意 ……4
CDについて ……5
各部の名称……6
乾電池の入れかた……7
ACアダプター(別売)で使うときは ……7
電源のオン・オフについて ……7
ホールドスイッチについて……8
接続のしかた ……8
CDを聴くときは …… 9〜12
　再生の基本操作…… 9〜10
　再生に関するボタン操作 …… 10
　プログラム再生 …… 10〜11
　1曲リピート・全曲リピート
　・イントロ再生・ランダム再生… 11〜12
ESP機能について …… 12
重低音スイッチについて …… 12
お手入れのしかた …… 13
故障かなと思ったら …… 13
主な仕様…… 14
保証書とアフターサービスについて …… 14
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じた、あらゆる結果及び直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は「感電注意」が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は「電源プラグをコンコンセントから抜く」が描かれています。)

⚠ 警告

使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに停止ボタンを2回押して電源を切る。
AC電源を使用しているときはACアダプターをコンセントから抜く。乾電池で使用しているときは乾電池を取り外す
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

接続場所を選ぶ

ACアダプターは、すぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかにACアダプターをコンセントから抜く
●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。
●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。

次ページに続く

⚠ 警告

使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。
禁止	**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない** ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
禁止	**海外では使用しない** ●本機は日本国内でのみ使用可能です。
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
適合品を使う	**ACアダプターは、必ず本機の仕様に適合した製品を使う。海外でACアダプターを使わない。また、自動車・船舶などの直流DC電源に接続しない** ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
禁止	**本機やACアダプターの上に重い物を載せたり、ACアダプターのコードの上に本機を載せない** ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
禁止	**本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない** ●火災・感電の原因となります。
分解禁止	**分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
水かけ禁止	**本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない** ●感電や故障の原因となります。
禁止	**狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどを本機にかけて覆わない** ●火災の原因となります。
禁止	**本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない**
接触禁止	**雷が鳴りだしたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない** ●感電の原因になります。
禁止	**ピックアップレンズを覗き込まない** ●レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠ 注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつかないように、ディスク・乾電池の出入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない** ●落下による故障やけがの原因となることがあります。
極性に注意	**乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる** ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

禁止	**指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を一緒に使わない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因になることがあります。
禁止	**はじめから音量を上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
禁止	**長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
禁止	**ピックアップレンズには指を触れない** ●再生不良や故障の原因となることがあります。
乾電池を取り外す	**長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
⚠ 注意	・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。

CDについて

CD規格の注意事項

●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCDのマーク

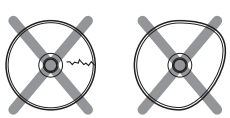
●本機はCD-R ／ CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R ／ CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスク使用上の注意点

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

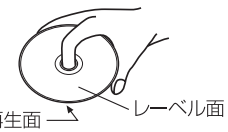


結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

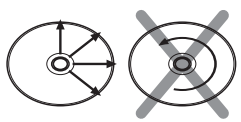
ディスク取扱上の注意点

◆再生面に触れないように持ってください。

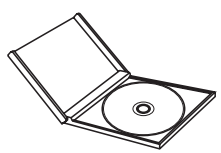


◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

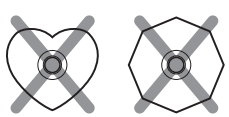
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

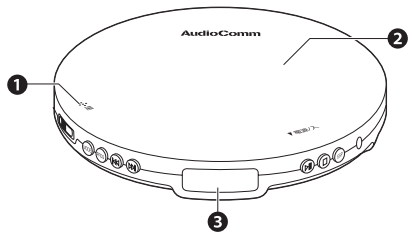


◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。

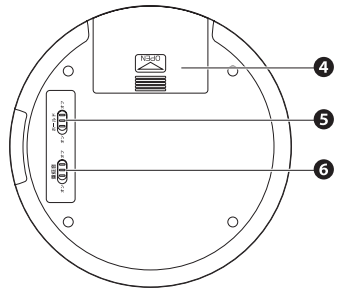


各部の名称

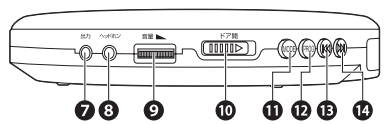
前面／上面



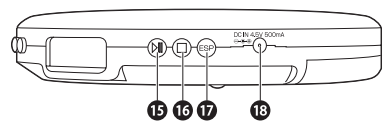
底　面



左側面

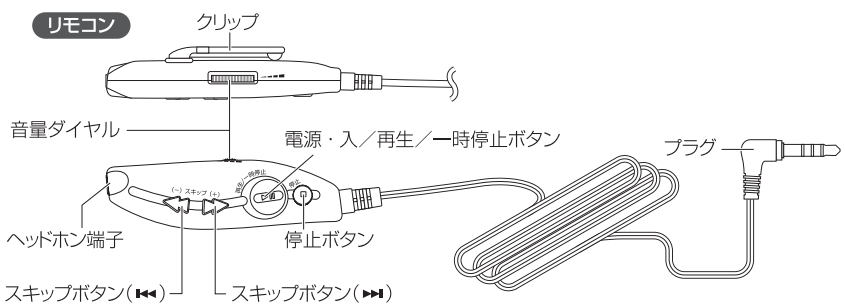


右側面



❶ CDドア閉部	❿ CDドア開スイッチ
❷ CDドア	⓫ モードボタン
❸ ディスプレイ	⓬ プログラムボタン
❹ 電池ボックスカバー	⓭ スキップボタン（⏮）
❺ ホールドスイッチ	⓮ スキップボタン（⏭）
❻ 重低音スイッチ	⓯ 電源・入／再生／一時停止ボタン
❼ 音声出力端子	⓰ 停止ボタン
❽ ヘッドホン／リモコン端子	⓱ ESPボタン
❾ 音量ダイヤル	⓲ ACアダプター端子

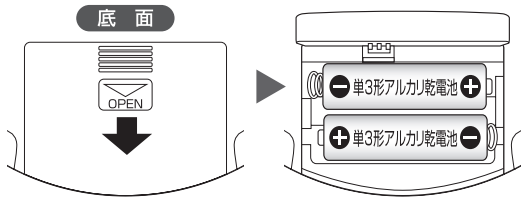
リモコン



乾電池の入れかた

乾電池で使うときは…

1. 電池ボックスカバーのOPEN部を押しながら矢印の方向にスライドさせて開けます。
2. 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本(別売)を本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます(コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください)。
3. 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。

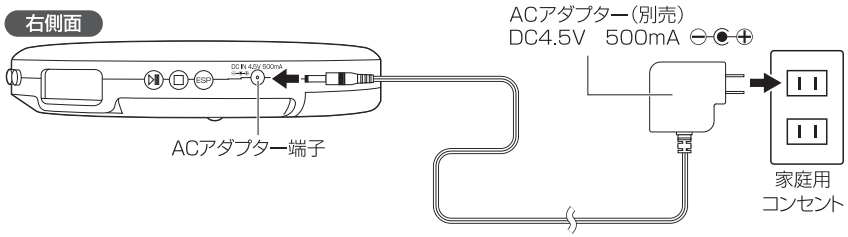


単3形アルカリ乾電池(LR6)
×2本(別売)

- ●充電池は定格電圧が低いため、使用時間が短くなったり、正常に動作しない場合があります。アルカリ乾電池をご使用ください。
- ●乾電池の残量が少なくなると、ディスプレイに電池マーク(▭)が表示されます。早めに新しい乾電池と交換してください。

ACアダプター(別売)で使うときは

- ●ACアダプター(別売)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
- ●ACアダプターを使うと自動的に電源がACアダプターに変更されます。



- ●ACアダプターは市販のDC4.5V 500mA ⊖◉⊕ をご使用ください。それ以外の規格の製品は使わないでください。
- ●ACアダプターを家庭用コンセントから抜くときは、必ず本体を持って行なってください。

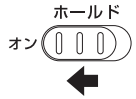
電源のオン・オフについて

電源オン…電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと、電源が入ります(CDが正しく装着されているときは、読み込み動作の後、自動的に再生が始まります)。

電源オフ…停止ボタンを2回押すと電源が切れます。

オートオフ機能…停止状態が約30秒間続くと、節電のため自動的に電源が切れます。

ホールドスイッチについて



底面にあるホールドスイッチをオンにするとボタン操作ができなくなり、カバンなどに入れた際の誤作動を防止することができます(音量ダイヤルを除く)。

接続のしかた

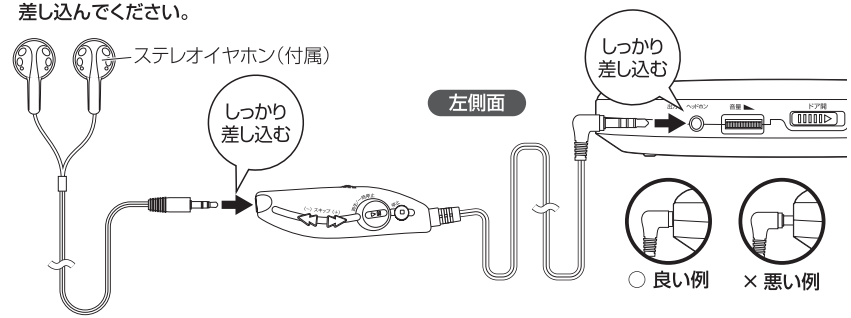
重要

- ●イヤホンで聴くか、スピーカーで聴くかによって、接続する端子が異なりますので、十分にご注意ください。接続を誤ると、音声が正しく出力されません。
- ●接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。
- ●プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行なってください。断線や破損のおそれがあります。

イヤホンで聴くときは

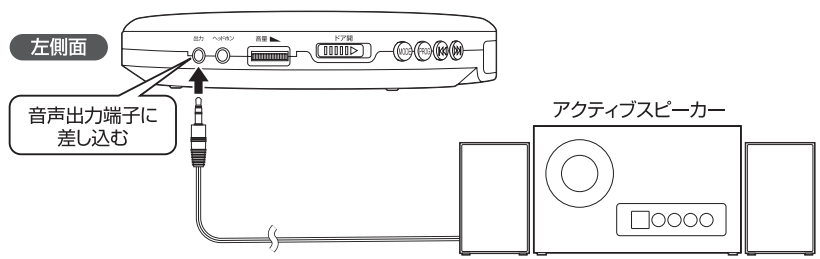
イヤホンのプラグをリモコンのヘッドホン端子に差し込み、続いてリモコンのプラグを本機のヘッドホン／リモコン端子に差し込みます。

※ヘッドホン／リモコン端子は、使用中に外れにくいよう固くなっています。リモコン装着時にはしっかり差し込んでください。



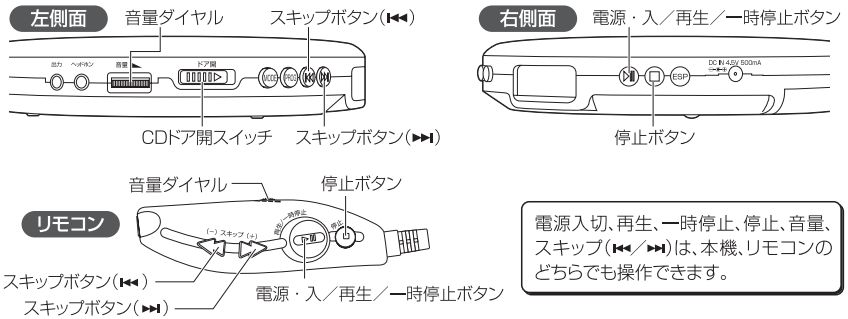
アクティブスピーカー(別売)で聴くときは

- ●スピーカーコードのφ3.5mmステレオミニプラグを本機の音声出力端子に差し込みます。



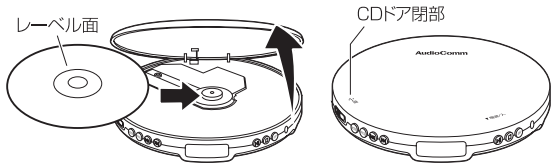
CDを聴くときは

再生の基本操作



電源入切、再生、一時停止、停止、音量、スキップ(⏮／⏭)は、本機、リモコンのどちらでも操作できます。

1. CDドア開スイッチを▷の方向にスライドさせて、CDドアを開けます。
2. ディスクのレーベル面(印刷してある面)を上にして正しくセットした後、CDドア閉部を指先で押して閉めます。



3. 電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと電源が入り、「ーー」と表示されてディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、総曲数と総収録時間が表示された後、自動で再生が始まります。

- ●読み込みには時間がかかることがあります。
- ●ディスクが入っていない場合や、汚れや破損、入れ間違い(表裏逆に装着)などにより、読み込みが完了できない場合は、「diSC」または「Er」と表示されます。
- ●本機の規格に適合しないディスク(圧縮ファイルが記録されたディスクなど)の場合、読み取りから再生動作が始まり、ディスプレイにも経過時間が表示されますが、音は出ません。
- ●ディスプレイ表示が消えた後にCDドアを閉めた場合、自動再生はされません。

4. 音量ダイヤルで音量を調節します。
   - ●本機、リモコン双方で調節できますが、CDプレーヤー本体の音量設定が最小の場合、音は聴こえませんのでご注意ください。
   - ●音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
5. 再生中に電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止します(経過時間が点滅します)。もう一度押すと再生を再開します。

6. 再生を止めるには、停止ボタンを押します。
   - ●停止状態では、総曲数と総収録時間が表示されます。
7. もう一度停止ボタンを押すと、ディスプレイ表示が消え、電源が切れます。停止状態が約30秒続いた場合も、自動的に電源が切れます。

- ●ディスクを取り出す際は、回転しているディスクを押さえて無理に停止させないでください。ディスク面に傷が付いたり、本機が故障する場合があります。
- ●ディスクを取り出すときは、回転が完全に止まってから、回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。
- ●使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。

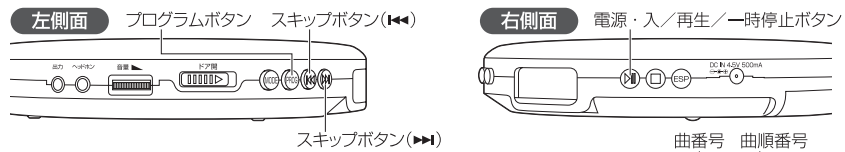
再生に関するボタン操作

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップボタン(⏮)	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、一つ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに前の曲に戻って再生します。	聴いている曲を早戻しします。指を離した時点から再生を再開します。
スキップボタン(⏭)	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲を早送りします。指を離した時点から再生を再開します。
電源・入／再生／一時停止ボタン	再生	一時停止	一時停止
停止ボタン	電源を切る	再生を停止	再生を停止

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

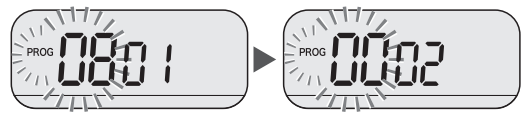
プログラム再生

本機では最大20曲までお好きな順番で曲を再生することができます。



1. プログラムボタンを押します。
   - ●曲順番号と曲番号、「PROG」が表示され、そのうち曲番号と「PROG」が点滅します。

2. スキップボタン(⏮／⏭)で最初に登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。



次ページに続く 10

CDを聴くときは（つづき）

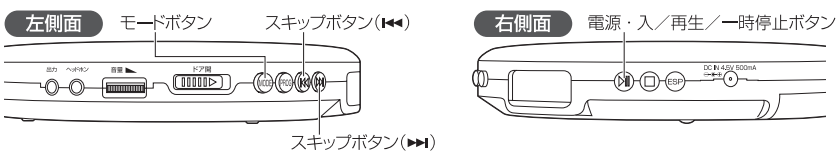
3 ステップ2と同様の手順で2番目以降の曲を登録していきます。

4 電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。
●プログラム再生中は「PROG」が表示されます。

●任意の曲を再生中にプログラム登録を行った後、電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと、聴いている曲をスキップして、プログラム再生が始まります。
●プログラム再生中に停止ボタンを押すと、再生が停止し、プログラム内容も消去されます。
●プログラム内容を確認するには、プログラム登録中にプログラムボタンを数回押してください。押すたびに曲順番号が送られ、登録した曲番号と「PROG」が点滅します。
●プログラム登録中に曲順を変更したい場合は、プログラムボタンを数回押して変更する曲順番号を表示させた後、スキップボタン（⏮／⏭）で曲番号を変更し、もう一度プログラムボタンを押してください。

1曲リピート・全曲リピート・イントロ再生・ランダム再生

モードボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。



モードボタンを1回押す　1曲リピート

聴いている曲を繰り返し再生します。
●1曲リピート中はディスプレイに「REP1」が表示されます。
●曲を選んで繰り返し聴くには、一時停止中または停止中にスキップボタン（⏮／⏭）で曲番号を選び、電源・入／再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。

モードボタンを2回押す　全曲リピート

CD内の全曲を繰り返し再生します。
●全曲リピート中はディスプレイに「REPALL」が表示されます。
●再生中に全曲リピートを選んだ場合は、そのまま全曲を繰り返し再生します。
●一時停止中または停止中に全曲リピートを選んだ場合は、電源・入／再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。

モードボタンを3回押す　イントロ再生

CD内の曲を最初の10秒ずつスキップしながら再生します。

●イントロ再生中はディスプレイに「INTRO」が表示されます。
●再生中にイントロ再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からイントロ再生が始まります。
●一時停止中にイントロ再生を選んだ場合は、電源・入／再生／一時停止ボタンを1回押すと1曲目に戻って一時停止状態になります。その後、さらに電源・入／再生／一時停止ボタンを押すと、1曲目からイントロ再生が始まります。
●停止中にイントロ再生を選んだ場合は、電源・入／再生／一時停止ボタンを押すとイントロ再生が始まります。
※「INTRO」が点滅している場合は、再生中または一時停止中にイントロ再生を選んだため、待機中であることを示しています。

モードボタンを4回押す　ランダム再生

CD内の曲をランダムに再生します。

●ランダム再生中はディスプレイに「RAND」が表示されます。
●再生中にランダム再生を選んだ場合は、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生が始まります。
●一時停止中または停止中にランダム再生を選んだ場合は、電源・入／再生／一時停止ボタンを押して再生を始めてください。一時停止中の場合は再生再開時にランダムに選ばれた次の曲から再生が始まります。

●1曲リピートや全曲リピート、イントロ再生、ランダム再生を解除するには、ディスプレイの各マークがすべて消えるまで、モードボタンを数回押してください。
●停止ボタンを押した場合も設定が解除されます。

ESP機能について

本機にはESP（Electronic Shock Protection）機能が内蔵されており、自動的に音飛びを防ぎます。

●ESP機能を有効にするには、ESPボタンを押してください。有効時はディスプレイに「ESP」が点滅し（蓄積中）、十分に蓄積されると点滅が止まります。
●ESP機能を解除するには、もう一度ESPボタンを押して、「ESP」を消してください。

●再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
●長時間振動が続いた場合（歩行中や動いている車内など）、一時的に音が途切れることがあります。

重低音スイッチについて

底面にある重低音スイッチをオンにすると、低音域を強調したサウンドを楽しむことができます。

お手入れのしかた

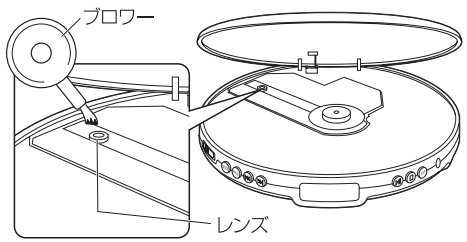
●キャビネットのお手入れ

キャビネットの汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を湿らせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●レンズ部のクリーニング

クリーニングの前に必ず電源を切ってください。レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。レンズ部にゴミやほこりがついた場合は、市販のブロワーでレンズを2～3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。



故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池が入っていますか
	●乾電池の向きは正しいですか
	●乾電池が消耗していませんか
	●(ACアダプター使用時)ACアダプターは本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか
	●本機の規格に合わないディスクが入っていませんか
	●ディスクが裏返しに入っていませんか
	●レンズがひどく汚れていませんか
	●一時停止状態になっていませんか
	●結露していませんか
CD-R／RWの再生ができない	●収録した曲は本機の規格に合ったファイル形式ですか
	●正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか
音が出ない	●ヘッドホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか
	●音量が最小になっていませんか
	●ヘッドホン端子または音声出力端子の選択は正しいですか
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか
	●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか
	●強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか

主な仕様

型式	コンパクトディスク デジタルオーディオシステム
チャンネル	2チャンネル(ステレオ)
電源	DC3V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本 (別売)
	外部電源 DC4.5V 500mA ⊖-●-⊕ (ACアダプター：別売)
出力端子	ヘッドホン出力(φ3.5mmステレオミニプラグ)
	音声出力(φ3.5mmステレオミニプラグ)
出力レベル	ヘッドホン最大出力レベル 15mW+15mW
	音声出力レベル 0.4V+0.4V(アクティブスピーカー用)
対応フォーマット	CD-DA
使用時間の目安	アルカリ乾電池新品使用時：約8時間 (中程度の音量にて使用時の目安です。使用状況により異なります)
外形寸法	幅142X高さ29X奥行142mm(突起物を含まず)
質量	約200g(乾電池・付属品を含まず)
付属品	ステレオイヤホン、リモコン(クリップ付)、保証書付取扱説明書

※仕様及び外観などは、予告なく変更することがあります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。